

敷島北小学校 学校関係者評価書（後期）

平成22年 2月15日（月）

敷島北小学校 学校関係者評価委員会作成

第2回 学校関係者評価委員会

実施日：平成22年 1月28日（木）午後7時～

会場：敷島北小学校会議室

参加者：学校関係者評価委員 磯村 修 横山英磨 桜井みどり 新津 健
石橋浩二 大久保智勇 河野勝彦 保延昇一

学校側 校長：相川芳廣 教頭：古屋宗久 教務主任：小川啓介

I 学校側から提案された内容

学校側教務主任より12月に実施した「教職員自己評価」及び「児童アンケート」「保護者アンケート」を分析しまとめた、以下の項目についての説明が行われた。

(1) 説明の概要

①教職員の自己評価結果から

- ・全体的にA評価が増えている。
- ・生き方教育（キャリア教育）に対する研修と本校の指導方針の確立が必要である。
- ・バランス良く各教科の授業時数を確保していくのが難しいと感じている。

②児童のアンケート結果から

- ・全体的な傾向は、前回とほぼ同じで大きな変化は見られない。
- ・「相談できる先生がいる」と答えた児童が減少している。
- ・決まりや約束を守る意識や態度（規範意識）を育てる指導の充実が必要。

③保護者のアンケート結果から

- ・前回と同様B評価の回答が多い。
- ・親子読書に対する取組意識に変化が見られない。
- ・学校評議員制度について理解が少ない。

④自己評価・児童アンケート・保護者アンケートの相関グラフから

- ・児童と保護者のプラス評価は内訳（A評価B評価の割合）に違いは見られるが、おおむね同様の傾向を示している。
- ・教職員のA評価の傾向（割合・比率）と児童保護者のプラス評価の傾向（割合・比率）がおおむね同じものがいくつか見られる。
例：「学習の理解」「家庭学習」「コミュニケーション」「あいさつ」など

(2) 今後の方針（改善策）

①時間をおいた見直しも効果的なこともある

- ・夏休みの職員会議で再度「学校教育目標」について話し合いを行った。このことにより確実に、「学校教育目標」が職員に定着した。

②キャリア教育の充実

- ・「小学校では必要性に乏しい」という、職員の意識があるように感じる。来年度の研修課題の一つとして加え、研鑽を深めたい。

③バランスの取れた学習指導

- ・学習指導要領の完全実施に伴い、授業時数が増え6校時の日も増える。一層の行事の精選が必要となるが、ゆとりを持った学校行事と授業時数の確保のバランスを考え、学校教育を展開していきたい。

II 協議された主な内容 評…評価委員 学…学校側

(1) キャリア教育について

評…具体的に小学校ではどのようなことをするのですか？

学…学校の教育活動すべての中で実践します。具体的には、低学年の生活科や中学年の社会科、高学年の総合学習などです。特別活動という形で実施することもあります。職業観・勤労観の育成をねらっています。

評…小学生に就労意識を持たせるのは難しいのでは？

学…小学校では、例えば低学年では「みんなと助け合い仲良くする」中学年では「働くことを知り、働く人から学ぶ」高学年では「自分の役割を知り、将来の夢や希望を持つ」など話し合いや活動を通して、職業意識を育てることに重点を置いています。

評…キャリア教育という言葉があまりなじみが無いように思います。基本的には人がこの世の中でどうやってまわりの人と仲良く生きていくか、そして人として世の中にどのように役立っていくかと言うことだと思います。

評…キャリア教育、生き方教育の延長に職業意識があるのかな。小学校では、働いている人の話を聞く。中学校では、自分が職場に行ってみたり聞いたりする。高校では、実際に実習体験をする。小学校段階では、その根っこの部分を育てることが必要だと思うのですが。

評…小学校では、働くことの大切さを教科や道徳などで教えてもらいたい。

評…小学生ではなかなか職業意識を育てることは難しいが、例えば商店への見学を通して多くの人の手を経て、食べ物が自分の手に届くといったことを学ぶ中で、自然に働くことの大切さが分かればよいのではないかと思います。

学…キャリア教育については、小学生という年齢を考えると就業意識を育てることは難しく、むしろ道徳教育や特別活動、各教科学習を通して、働く意義、働く喜びや素晴らしさ、感謝する心、労働の価値などについて考えさせていくことが大切ではないか、という話になりました。学校でもそのようなことを考えながら教育を進めていきたいと思います。

(2) サマースクールについて

評…学習については、ゆとり教育の弊害が言われているが、今となっては時間的に土曜日の半日が失われたことは学校にとって大きかったのではないのでしょうか。

評…学習時間の確保という点では、北小で行っているサマースクールは、保護者の立場としては、大変ありがたい。夏休みは子ども達は休みでも、親は休みではないので、勉強を先生方に見てもらえるのは大変ありがたいことです。この時間は、先生方のボランティアなのですか。

学…夏休みは、子ども達は休みですが、職員は勤務日です。ですから、出張や研修と重ならない都合のつく勤務日に子ども達に学習指導をすることは、それほど負担ではありません。サマースクールについては、こんな構想もあります。今は、夏休み中の都合のつく日に、担任の先生が自分のクラスの子どもの勉強を見していますが、全職員が交代で指導に関わったらどうか、ということ。そうすれば、職員一人一人の負担は減り、児童も良い意味での緊張感が生まれると思います。いろいろな先生から指導を受ける良さも出ると思いますし、職員にとっては、全職員が全児童の担任だ、という意識を持つことができます。それが北小の伝統になればと思います。

(3) 子ども達のB評価に注目して

評…今まで、学校評価を見るときに、A評価とB評価をまとめて肯定的な意見（よい）として、CD評価と比べて分析していましたが、自分が評価するときは、「絶対そうだ」と自信がない限りA評価はつけません。なんとなく迷ったり、心にやましいものがあつた時にB評価をつけるような気がします。そのような目で児童のアンケート結果を見てみますと、前期と比較してB評価が増えた項目は、「困ったときに相談できる友達がいますか」+12ポイント、「困ったときに相談できる先生がいますか」+5ポイントなどがあげられます。AB評価を一緒にしてしまうと見えない部分ですので、子ども達の躊躇する意識を気を付けて見ていった方がいいと思います。先生方には生徒指導を含めて、これから指導していつてもらいたいと思います。

（4）中学校生活に対応できる子をどのように育てるか。

評…北小の卒業生は生徒数の多い中学校などへいくと不適應を起こす子が多い。というような声を耳にします。

学…学校でもそのような話を耳にすることはありますが、敷中での不登校者で特に北小からの子が多いという話は聞いていません。むしろ印象とすれば、生徒会や部活動でがんばっているなという印象を受けます。ただ、小学校から中学校へというのは子ども達にとってはものすごく大きな変化です。その変化に押しつぶされず、大きく飛躍する子を育てるにはどのようにしたらよいのでしょうか。

評…私は子どもがサッカーのスポ少に入っている関係で、子ども達と関わっています。サッカーのスポ少は敷島地区の3小学校の子ども達が集まってくるので、学校を超えた仲間意識が育ち、それで中学校へいってもすぐに仲間ができて、スムーズに中学校生活に入っていけるのだと思います。

評…私は社会教育委員として、子ども達の指導に関わっていますが、いろいろな小学校から集まった子ども達の中で、自己アピールできる子とそうでない子がいます。知らない人の中に入っても、自己アピールできる力を育てていくことが大切だと思っています。

評…私は子ども達一人一人が個としての強さを持つことが必要だと思っています。そのためには、自分の考えを相手に伝える表現力を磨く必要があります。学校では、読書活動に力を入れているようなので、その方向から、子ども達の力を付けていったらどうでしょうか。

評…読んだ本の感想を発表するような取組をすると良いと思います。できれば、体育館など全校の前で発表したり、朗読したりすることで物怖じしない心が養われ、自信がつくのではないのでしょうか。

評…自分に自信を持たせるためには、だれにでも分かるように褒めてくれること。褒めて育てることが大切だと思っています。褒められることで、一層自分に自信が持てるようになります。

学…ある調査で、低学年ほど「学校生活が楽しい時は」「先生に褒められた時」という答えの割合が高い、という結果がありました。先生の言葉の持つ意味は大きいのでこれからも意識して心がけていきたいと思っています。

（5）子ども達のあいさつについて

評…北小の子ども達は、よくあいさつをしてくれて気持ちがいいです。でも、子ども達から大人にあいさつをするのはなかなか難しいと思いますが。

評…昔とちがい、知らない人から声を掛けられたら逃げなさいと、家庭でも教えています。子どもはなるべく大人と顔を合わせないようにしているのでないでしょうか。

